

「食育」の推進



食を考える月間

・平成15年から毎年1月を「食を考える月間」とし、生産者、食品産業関係者、消費者などあらゆる層の参加を得てシンポジウムや展示会をはじめとした「食」について改めて考え直すための様々な取組を展開。

全国的な取組の展開

国民的な食育活動の展開

- ・大人向け、児童・生徒向け等対象特性毎の普及・啓発資料の作成・配布。
- ・マスメディアを通じた食に対する意識高揚と理解促進のための情報提供活動の展開。
- ・「食を考える国民会議」会員による啓発活動への支援。



食育実践手法の高度化

・多様な活動の推進

- ・優れた実践例の表彰（食育推進コンクール）
- ・有識者のプロジェクトチームによる「食育」の実践方策に関する研究活動の実施。



食育推進ボランティア

- ・全国で約3万人を養成（各都道府県で食育推進のための講習会を実施し、専門分野ごとにリスト化）
 - ・生産者、衛生管理関係者、栄養学関係者、学校給食関係者などで構成。
- 【ボランティアとしての活動例】
- ・望ましい栄養バランスや食習慣に関する指導
 - ・「食」の安全性やリスクへの対処方法に関する理解増進のための活動
 - ・地域における価値のある食材や食文化の啓発活動
 - ・消費者と生産者の距離を近付けるための取組

地域での取組の実践

学校給食を通じた取組

- ・地域の食材等を活用した給食を体験し、子供たちに「食」に対する理解、農業生産現場についての理解を深めてもらい、安全・安心に関する理解の増進に資する。



消費者と生産者の相互理解に向けた取組

- ・朝市・夕市など交流を通じた、消費者と生産者の相互理解の促進。
- ・地域の産物による調理講習会等を行い、地域の食に対する理解の増進に資する。
- ・食品産業の見学・作業体験を通じた食料生産や食の安全についての理解促進。

